

能登少年自然の家の令和6年度管理状況

様式 1

施設所管課	教育委員会事務局生涯学習課
施設管理者	一般財団法人石川県県民ふれあい公社 理事長 山口 健 介
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
中期経営目標 (R4～R9)	・利用者数を5年間で4%増加させます。 ・利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	・能登半島地震の影響により、臨時休業中である。 臨時休業中は、解体業者等の団体受け入れを行っていた。 ・能登少年自然の家の施設が使用できないため、出張事業として被災地の子ども向け自然体験活動事業の実施。 (能登っ子(夏): 2回/63名、出前講座6回/74名、 能登っ子(冬): 2回/67名、出前講座11回/208名)
② 広報活動	・被災地の子ども向け自然体験活動事業のチラシを配布 - また、施設再開時には、施設の情報提供、広報、広告 ・常に新しい情報を提供できるようホームページの充実 ・主催事業広報用リーフレットの作成、能登町、珠洲市の学校、保育所、公民館に配布 ・近隣の小中学校をはじめ、企業や公民館等を訪問するなど施設利用をPR ・新聞等マスコミ関係イベント情報を提供

(2) 令和7年度における取組内容の見直し等

実施内容
・震災で能登の子供たちの活動が厳しくなった為、里海・里山教室を開催し地元石川の良さを見つめ直す。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H29～R1年度 平均 (基準値)	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	基準値比	R8年度 (目標値)
(1) 利用者数（人）	21,668人	6,183人	10,999人	0人	0.0%	0.0%	22,550人
(2) 貸館稼働率（%）	44.2	14.8	38.4	0.0	-38.40 ^{ポイント}	-44.20 ^{ポイント}	0.0
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス（%）	100.0	100.0	100.0	0.0	-100.0 ^{ポイント}	-100.0 ^{ポイント}	95.0
施設の維持管理（%）	98.5	100.0	100.0	0.0	-100.0 ^{ポイント}	-98.50 ^{ポイント}	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

＜利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由＞

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	能登半島地震の影響により、休館した。休館中は被災地支援団体等の受け入れを行った。	能登半島地震の影響により休館した。

＜利用者アンケート結果（有効回答数0件）＞臨時休業中のためアンケートの実施なし

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス（%）	—	—	—	—
施設の維持管理（%）	—	—	—	—

3 施設等の維持管理

項 目	実施内容
(1) 清掃	・ 日常清掃：毎日1～2回
(2) 設備保守点検	・ 電気設備：年6回 ・ 消防用設備：年2回 ・ 簡易水道検査：年1回 ・ 鼠、昆虫等の防除（年1回） ・ 合併処理施設 点検（維持管理）月4回×12ヶ月
(3) 植栽維持管理	草刈り 樹木剪定 敵宣
(4) 警備	・ 施設全体の警備（常駐、夜間警備（宿泊者がいる場合）、巡回警備等）及び駐車場管理を毎日実施
(5) 小規模修繕	・ 大型バス車検整備

4 管理運営体制

項 目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	緊急連絡網、危機管理マニュアル、避難訓練の実施 年2回
(2) 個人情報の管理状況	・基本協定（個人情報の取扱いに係る特記事項）に基づき適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項 目	許可件数	不許可件数	不許可理由
能登少年自然の家	69		
合 計	69	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項 目	収入額	減免額	減免理由
食事料	0		
寝具料	1,397		
暖房・カヌー利用料等	665		
合 計	2,062	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	34,370	人件費	16,176
利用料収入	2,062	光熱水費	4,304
その他	0	修繕費	517
		その他	4,857
合 計 ①	36,432	合 計 ②	25,854
収支差額 ①－②	10,578		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
	なし	

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
	なし	

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	・能登半島地震により建物が被災し、休館中であるが、施設を使用しない出張事業を実施するなど、最大限の利用促進に取り組んでいる。 ・施設再開時には、効果的な施設の情報発信を実施できる体制を整えている。
(2) 施設等の維持管理	B	・能登半島地震により建物が被災し、修繕工事を待っているところだが、利用者の快適性や安全性を考慮し、施設の清掃・点検に積極的に対応している。 ・施設内は常に清潔に保たれており、適切な管理が行われている。
(3) 管理運営体制	B	・教育施設としての機能が発揮できる、適切な職員の配置がなされている。 ・解体業者等被災地支援団体を受け入れる体制を整えている。
総合評価	B	・能登半島地震により建物が被災し、休館中ではあるが、仕様書等に基づき適切な管理運営を行うとともに、再開に向けた準備を積極的に行っている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

--